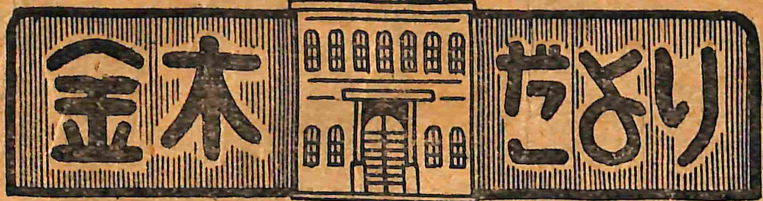


発行所 金木町役場
印刷所 東東日報社
印刷局 印刷局



町村合併問題

町村合併は国家的大事業

大きな荷物も二人で運べば楽

新聞やラジオ等が御存じのように、昭和大正、大光寺や、北部でも五所川原を中心に七カ町村の合併問題、そして先般の試案等の発表があつて、随分さわがれてい

町村合併は国家的大事業
町村合併は現在国家の大事業として、国も果敢と取上つて、非常な大事業である。

町村合併すれば、一、無駄な経費が節約されて、役場の能率が上がる。二、優秀な人材をいれりるな方面に自由を選べる。

排水ポンプで 五千俵增收

排水ポンプで
五千俵增收
この排水ポンプ事業による受益面積は四三〇町歩で、九五九・七石の増収を見込んでいます。



金木町(一等)等四名入選
昨十月九日、県消防協会火防伝作募集から火防伝作、中学校の部、文作の部、一等(八〇〇円)

農業労働者
北海道から多数求人
一、求人先
北海道北川郡風連町、河西郡芽

あしあと
一月九日 教育民生常任委員会
一月十日 浮洲地区関係者打合せ

幼児期、小学校、保育所懇談会から

人格形成の第一期

一日も早くスムーズに小学校教育の中になじませてやりたいという親心から、一月二十五日午後一時より町役場接産室で花田町長、金木小学校の田村首領教諭、兼平、白川、野呂、加藤の諸先生

意見に賛成し、さらに「親としていろいろのきつめをする」とを強調された。「積極性のある二三の子供につれて、小さい子供

「入学前に全部を仮入学させてはどうか」と仮入学の問題について種々な面から検討し合いましたが、これならばという方法も見つか

事業計画の概要
一、受益面積
町村名 現況 計画後 潰地

一、団体生活における基礎的な生活
二、我儘な行動を抑える
三、優越感を抑える
四、智的教養はさげすまない

農業労働者
北海道から多数求人
一、求人先
北海道北川郡風連町、河西郡芽

辞令
(新採用) 金木町保育所
(母) 浅木 れい

「入学前に全部を仮入学させてはどうか」と仮入学の問題について種々な面から検討し合いましたが、これならばという方法も見つか

「入学前に全部を仮入学させてはどうか」と仮入学の問題について種々な面から検討し合いましたが、これならばという方法も見つか

# 貧富の差で決定しない

## 保育所の入所児童

社会保険費の予算が復活したの  
で、これらの関係者をホッとさ  
せたが、当町の保育所もこの開  
題が取り上げられたとき、母の会  
では、補助率引上げの署名運動  
や書類及び電報による陳情など  
の努力もあり、また町長も  
上京陳情する等、涙ぐましい活  
躍の賜であったこと今さら申  
上げるまでもないことであるが  
やむを得ず保育所に入所させ  
る児童、即ち「措置児童」と  
「私的契約児童」について理解  
されてない点もあるため、役場  
や保育所の係に聞いてみるこ  
とにしよう。

入所児童について  
「保育」に欠けている児童を保育  
定員は新築された場合は八〇名  
昭和二十七年四月に保育所を設

# ブラジル及びパラグアイ両国に

## 九千二百二十家族移民

### 日本人を待つている

#### ブラジルとパラグアイ

戦前戦後を通じてほとんど見えて  
ゆくわが国の人口問題も、昨年に  
入りとうやうや嬉しい見通しがつ  
つよくなり、海外渡航の夢を抱  
て晴れの日を待ちわびる移民希望  
者は日増しに多くなり、開拓課  
には毎日申込書が舞い込んでいる  
が、このたびはブラジル九千、パラ  
グアイ二百二十家族を五年計画によ  
る正式入国が許可されたので、県  
海外移民協会では、今年こそ大量  
の移民を行おうと準備を進めてい  
る。

当町でも昨年三家族の申込みがあ  
ったが、移民するには一世帯三人  
以上の労働者を持ち、自己資金最  
低十五万円から最高五十万円ほど  
もたねばならず、おまけに独身者  
の移民は禁止されているという制  
限があること、昨年は大沢町  
の仁平次郎氏一家（家族五名）が  
全開十世帯の中から選ばれて渡航  
しているだけに止まつては、一組  
今年には資金面の心配はなく、「一組  
以上の夫婦で三人以上の労働者  
をもった健康な家族構成」であれば

して以来のことを回顧してみれば  
一般に措置費（保育料）の全額免  
除されている児童を「措置児童」  
だというふうにかき立てられている  
これは全く思い違いであつて、一  
月五〇〇円徴収されている措置  
児童のいることを知つていただき  
たいと思つた。

当町の場合は、法の主旨からいつ  
ても生活程度や家族構成、職種等  
について、果または国全般の状況  
から考へてみれば「保育」に欠け  
ている家庭」が大部分であるとし  
なるべく多くの児童を収容保護す  
るという方針をとつてきたのであ  
るが、一般には「幼稚園」だと思  
われているのか、ほんとうに入所さ  
せたいと考えている子供さんが入  
つて来ない傾向にあるので、昭和  
二十九年年度には、その原因を究明  
し、その障害を排除するよう設備  
や環境を整へるつもりである。

【写真】お店ごっこをしている  
保育所の子供達



点でアマソンの大盆地とブラジル  
高原の大部分は文化民の開拓を待  
つて居るわけだ。

産業は農業が主で、特にコーヒ  
ー栽培園として世界に知られ、  
世界の五〇・六〇％をしめ、その  
七〇％が輸出されています。その  
他棉花、ココア、トウモロコシ、  
タバコを産し、また畜産も盛ん  
で、牛四千万、豚二千五百万、  
羊一千四百万が飼育されています  
。この地域の気候は赤道直下  
にあるので盛夏の地方で、そのため  
に四季はなく、降雨時季が一定し  
ておられます。十一月から四月まで  
が雨季、五月から十月までが乾季  
で、一年の平均気温が二七・二度  
です。開拓の余地のあるのはこの  
地域です。

中央部がブラジル高原地帯で高  
度六〇〇米一、五〇〇米までの  
地帯で、気候も亜熱帯で平均気温  
は二七・四度です。南部はブラ  
タ川流域で温帯的な気候で年平均  
二〇・一〇度最暖月一月でも東京  
の八月よりも涼しく、最寒月六月  
は丁度東京の四月ごろに相当して  
現在開拓され、人口の多いのは  
南部とブラジル高原のわずかな地

た結果もいわれています。しか  
し、その反面に戦中内地との運  
絡が全く絶えていたために終戦後  
も日本の敗戦を信じない同胞の多  
かつたことは存じの通りです。  
ブラジルはこれにより日本と密  
接な関係を持つていますが、パラ  
グアイ国は全然未知の国であるとい  
つてもいいでしょう。この開拓は  
日本の長野県と同じく海岸を持た  
ない内陸国で、人口は一五〇万人  
で面積四万五千八平方キロ平方  
二人の人口密度（日本は一九二  
である）大部分は平地で水利の便  
が非常によく、気候は雨季と乾季  
に分かれ高温で、産業は国民性が  
意情なので国土の開発がおくれ、  
年々ヨーロッパその他の諸国から  
移民を入れて開拓を進めるとい  
う状態、農業は小麦、サトウ  
キビ、棉花が栽培されており、肥  
沃な耕地、気候にめぐまれ将来性  
があり、牧畜に放牧好適な地域  
が広いのでこれも有望視されてい  
ます。

このうちブラジルの耕地  
一八二〇年代の移民開始以来現在  
は五百万人を数え、その子孫をも  
合算した外国移民は二千万人で、  
そのうちイタリヤ人四百萬、ポ  
トガル人三百萬、ドイツ人百萬、  
イスパニア人百萬、日本人二万  
その他八〇万人となつています。  
日本人移民は一九〇八年七八一  
人がはじまりで、その大多数はコ  
ーヒー及び棉花の最大生産地であ  
るサンパウロ州に在留し農耕に従  
事し、この人達はまずフアセンタ  
と呼ばれる巨大なコーヒー園は  
いりました。これは一五ヘクタ  
ルほどの農園でその中にはい  
くつかの村があり、数千軒の鉄道  
も敷かれています。そこで移民は  
数ヘクタールの土地を借りてコー  
ヒーを植えつけ、コーヒーの間に  
はとうもろこし、米、豆類などを  
間作して食料とし、家畜や鳥など  
を飼つて自給します。五カ年位か  
かつてコーヒーを育てると、その  
土地を返してつぎの土地を借りま  
す。

こうして次第にブラジルの耕地  
が多くなつてきたのでありますが  
現在、コーヒーがブラジルの重要  
な産物となつて居るのは初期の日  
本人移民の努力の賜物といわれて  
おり、その結果次第にブラジル国  
民から認められて、現在サンパウ  
ロ市及びリオ・デ・ジANEIRO市  
の青物市場はほとんど日本人によ  
つて独占されておられます。またア  
マゾン川流域の三百家族は、他の  
外人がいかにも栽培できない

### 南米略図



# 校内における文化活動

## （金木中学校の巻）

美術部 ここではガリ版新聞を  
一手にのきうけて、紙面の構成に  
新聞編集以上の苦勞を凝らして  
また色々なポスターの制作に積極  
的に参加し、防火、納税、防犯、  
交通安全、或は秋祭りに町民と  
しての役割をはたすことができた  
豊富な粘土を掘り出して、立体的  
な表現をすることができるとも違  
はりきつて居る。

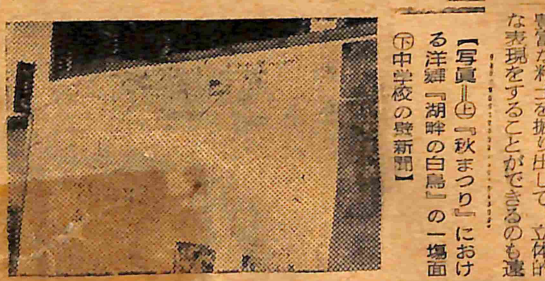
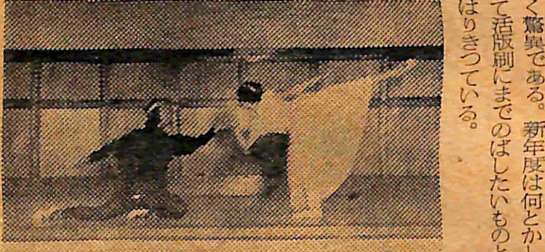
【写真】①「秋まつり」におけ  
る洋舞「湖畔の白鳥」の場面  
②中学校の新聞部

# 保育所へひな人形一組寄贈

安田百合子さん

保育所ではいつも訪れる「桃  
の節句」には、予算の関係で保  
母さん方の手製のおひな様で間  
に合わせようと考えていた矢先  
小川町の安田百合子（金木町保  
育所の母）さんから「お  
古ですがおひな様を寄贈して下  
さい」と難人形一組を寄贈して  
くれたので、保育所は始め子供  
さんは大喜び。

この「ひな人形」は安田さんの  
長女紀子さんの生れた昭和十一  
年三月十一日（伊弉諾）にお祖  
父さんにあたる現伊弉正海軍会  
議員から贈られたものである。  
【写真】「ひな人形」を手中  
の保育さん達



- ### 学校教職員一覧
- （二八・二・三〇現在）
- （請田小学校）
  - 校長山田中一、葛西武男、葛西
  - 副校長山田中一、村田秀雄、
  - 加藤道子
  - （金木中学校）
  - 校長岡部文治、花田征二、外崎
  - 美智雄、山田博男、竹内節蔵、
  - 棟方謙博、山崎博、白川安義、
  - 小内トシエ、伊藤隆、葛西英
  - 治、佐藤均、田中忠助、松原貞
  - 晴、新聞夕、羽田国雄